

平成21年度第1回小平市図書館協議会要録

- 1 日 時 平成21年5月14日（木）午後2時～4時30分
- 2 会 場 中央図書館会議室
- 3 出席者 図書館協議会委員：12人 傍聴者：なし
事務局：教育部長、中央図書館長、館長補佐兼庶務係長、館長補佐兼調査係長
花小金井図書館長、サービス係長、資料係長、仲町図書館長
計8人
- 4 配付資料 資料については省略させていただきます。
- 5 委員任命式（委員任命書の交付）
- 6 教育部長あいさつ
・今回、協議会委員のメンバーも半数が入れ替わった。また新たな視点で貴重な意見を賜りたい。
- 7 委員及び職員の紹介
- 8 会長及び副会長の選任について
会長 落合美代氏 副会長 大沼晴暉氏
- 9 議事
(1) 報告事項
 - ① 職員の人事異動について（資料No.3）
 - ・4月の人事異動は233人。図書館は12人の異動。
 - ② 図書館運営状況について
 - ・図書館事業等の報告と今後の予定について（資料No.4）
（これまでの報告）
 - 3月26日 障害者サービス交流会
学校図書館ボランティア養成講座
 - 4月 1日 こだいら子ども読書月間（～5月6日）
布の絵本の展示
 - 4月11日 「おしえて！みんなのすきなえほん」 えほん投票（～5月6日）
小平図書館友の会古本市
 - 4月15日 学校図書館協力員研修
 - 4月25日 子ども文庫まつり

4月26日 「布の絵本・遊具であそびましょう！」

4月28日 小平市子ども文庫協議会定期総会

5月 8日 学校図書館司書教諭等研究協議会

5月14日 読み聞かせ実践講座 第1回

(今後の予定)

5月17日 小平図書館友の会講演会

6月21日 おはなし会父の日スペシャル 喜平図書館

7月 9日 大人のためのおはなし会 上宿図書館

7月26日 夏休み家族一日図書館員

・平成21年度月別貸出状況について(資料No.5)

4月段階での数字だが、これが毎月積み上げられるものである。

・平成21年度広域利用市別貸出状況について(資料No.6)

なかでも東村山市の利用者が多い

③ 「小平の歴史を拓く(上)古文書目録解題編」の刊行について

・5月9日(土)から販売開始。800部刷った。

・これまで刊行された古文書目録には巻末に解題をつけていたが、この部分だけを本にし、市民の方に古文書を理解してもらいたいという思いで刊行した。

④ 平成20年度図書館事業報告について(資料No.7)

・貸出資料数では54,655点の増で、対前年度比率で3.55%伸びた。

・所蔵資料数は毎年120万冊をキープしている。

④ 学校図書館支援センター推進事業について(資料No.8)

・市内中学校8校に図書館協力員を配置する。

・調べ学習を支援するために配送システムを立ち上げた。

・協力員によるブックリストが作成された。各中学校への配布、図書館にも常備する。

・平成21年度は「学校図書館との連携推進事業」として継続する。

⑥ 平成21年度蔵書点検について(資料No.9)

・例年どおり6月に実施。3つのグループに分けて実施するため、貸出等は開館している図書館でできる。

・昨年に比べ閉館日数を少なくしている。

⑦ 平成21年度司書講習への職員派遣について

・亜細亜大学へ3名の派遣予定。

⑧ 平成21年度ブックリサイクル事業について(資料No.10)

・10月17日、1月23日、2月20日の3回を予定している。

⑨ 子ども読書活動推進計画について(資料No.11)

・平成17年3月に3か年計画で策定されたものが、2年間延長したため、第一次計画は平成21年度末で終了する。

・第二次計画のための基本方針を作成した。

・対象期間は平成22年度から平成26年度までの5年間。

- ・図書館協議会で意見を頂き、検討をしてもらいたい。
- ・秋には素案を作成し、パブリックコメントを実施する予定。
- ・4月23日から5月14日まで「乳幼児の読書アンケート」を実施した。

< 報告に対する質疑・応答 >

- 委員： 傍聴は全部公開ということで理解してよいのか。
- 事務局： 個人情報扱う場合などは非公開となるが、特段の事情がなければ原則公開になる。
- 委員： 事業報告にあるリクエストサービスの館内OPACとは何か。
- 事務局： 館内にある資料検索の端末機。ウェブOPACは自宅のインターネットからの図書館情報検索である。
- 委員： 市民の約半分が図書館利用カードを登録し、その半分つまりは約25%の人が利用していると聞いているが、その理由のようなものはあるのか。
- 事務局： 住民登録とリンクしていないため、登録されたまま市外へ転出する人や学生などが考えられる。
- 委員： 子ども読書活動推進計画で高学年にいくにつれて未読書率が高くなるが、この読書というのは教科書以外のものを定義しているのか。
- 事務局： 教科書以外の読書である。
- 委員： 図書館事業の今後の予定の中で、6月21日のおはなし会「父の日スペシャル」があるが、「母の日スペシャル」はないのか。
- 事務局： 父親に対して積極的にアピールしていきたいための企画である。
- 委員： 関連して、これからは図書館でも「声を出して読む」ということを推奨してもらいたい。
- 委員： 本の購入、廃棄について、いつどのような基準で行っているのか。
- 事務局： 一般の本については毎週水曜日に各館の担当者が集まり、実際の新刊本を見て一部購入する。その他、各自で新聞や書評を見たり、書店に出向き良い本と判断されたものを購入する。廃棄については10年から30年たった複本を廃棄している。
- 委員： 学校と図書館との結び付き、交流はできているのか。
- 委員： 小学校は先生が図書館へ行き、本の選定をしてそれらの本を配送してもらうことや学校図書館の蔵書整理などについて密接に連携をとっている。また、先生の図書館部会があり、学校図書館相談員に授業を見てもらい情報提供をもらっている。
- 委員： 中学校は学校図書館協力員が配置されたことで、週3日放課後に図書室が開けられる状態となった。もう一つは図書館にある本を配送してくれるサービスがとても役立っている。
- 委員： 学校の司書教諭と生徒との会話はできているか。
- 委員： できている。
- 委員： 市内の図書館は子どもが一人で図書館へ行っても相談に乗る体制はできているのか。
- 事務局： 図書館もできている。小平の学校図書館の資料は各学校のインターネットで検索することができ、さらに学校から図書館資料を検索することもできる。また、小学校では司書資格を有する学校図書館相談員が市内の学校を回り、連携を図っている。

- 委員： 学校間相互の利用もできるようになると良いが、今後の予定は。
- 事務局： システムは出来ているが、物流の問題がある。
- 委員： 図書館資料費が減少していく中、選書などその費用がどのように使われているのか、わかりやすい資料提供はできないか。
- 委員： また、児童書の選書基準はどのようなものか。
- 事務局： 児童書の場合、週1回選書会議があり、厳選に一冊ずつ講評して購入している。部門ごとに基準があり、次回までにその基準を示すことはできる。
- 委員： 一般書も部門ごとに基準があるのか。
- 事務局： 一般書も選書基準があり、示すことはできる。
- 委員： 夏のおすすめ本の選書は、どのように選書されているのか。
- 事務局： 児童担当が1月から選本に入り、小学生1・2年生、3・4年生、5・6年生、中学生向けの4種類を何度かの検討会議の中で絞り込み、それぞれの本に対しコメントを書いてまとめるまで、約半年の作業期間をかけている。
- 委員： 返却期間が2週間は短く思える。また、6月の臨時休館は各館4日は必要なのか。
- 事務局： 2週間の貸出期間だが、さらに2週間の延長も1回できるしくみになっている。また、臨時休館は蔵書点検のため必要な日数である。以前と比べ各館休館日をずらして対応している。
- 委員： おはなし会父の日スペシャルは良い企画だと思う。
- 委員： 「読むということは何か」という読みの本質に係ることについて、この協議会のどこかで時間を取り、話し合いをしていけたらと思う。
- 委員： 子ども読書活動推進計画のアンケートは、なぜ乳幼児の読書環境に関するアンケートなのか。
- 事務局： 「えほんのへや」という乳幼児向けのサービスを実施しているが、図書館側ではなかなか家庭での読書環境が見えてこないため、このアンケートで明らかにしていきたい。
- 委員： 近隣他市にない本を積極的に購入するという考え方はあるのか。
- 事務局： リクエストが出て他市にあれば、借用という方法をとるが、他市にもなく購入が可能であれば買うという判断になる。
- 委員： ベストセラーと専門書との比率はパーセントとして押さえているのか。また、値段で選本するのはいかなものか。内容で判断すべきではないか。
- 事務局： 一冊一冊内容を見て判断している。選書基準は具体的ではないが、一つ一つの本に当てはめていくための基準である。
- 委員： 廃棄ということを考えると、多摩地区で保存図書館というものを共同で設け、一つの資料はそこで収めておくのと良いのではと、いつも思っている。
- 委員： 小平市の図書資料費は予算的に減らされているのか。
- 事務局： ここ数年は横ばいで、安定した金額となっている。現状維持に努めたい。
- 委員： 新聞切り抜き事業の公開は行っているのか。
- 事務局： 昭和53年から小平市に関する新聞切り抜き事業は行っている。現在ではインターネットでキーワード検索ができるようになっているが、記事そのものは中央、上宿図書館で

保存、提供している。

委員：新聞の未来情報、例えば「明後日、どこどこで講座がある」というような情報が公開できると良いと思っている。

事務局：まだ、そこまでは整備されていない。

会長：この会の進め方として、図書館側からの報告を受け、質疑までが傍聴人がいて公開している協議会とし、その後テーマを設けた研究会という形ではよろしいか。テーマについては次回検討していきたい。

委員：できれば研究会も傍聴できると、より図書館にも興味を持てるのではないか。全体を協議会として見てはどうか。

事務局：協議会として位置づければ、特段問題はない。

会長：次回、その点も踏まえ委員の方の意見を伺いながら進めさせてもらう。

事務局：その他として、協議会の前回の提言についてはインターネットで公開している。また、市長のマニフェストの中で、図書館関係は2点上がっている。項目としては、「図書館協力員の全校配置」と「国分寺市との図書館相互利用ができるようにする」である。